

【市議会最前線】歴史と伝統が息づく倉吉の伝統×議会DX～デジタルで加速する「暮らしよし」のまちづくり～ = 倉吉市(鳥取県) 26/05/01 08:00 Nf001

鳥取県の中部に位置し、歴史と伝統が息づく「白壁土蔵のまち」倉吉市。その未来を拓く倉吉市議会は、市民に最も近い場所で「デジタル技術による見える化」と、「災害に強い議会体制の構築」を目指し、近年、大胆な変革を進めています。

現在の倉吉市議会が特に注力している、三つの主要な取り組みをご紹介します。

1. ライブ配信と電子表決による「透明性」の向上

議場設備を全面的に刷新し、YouTubeによるライブ配信を実施しています。自宅や外出先からでも本会議の様子を視聴できるようになり、市民にとって議会がより身近なものとなりました。

また、電子表決システムを導入。議員一人ひとりの賛否が瞬時にスクリーンへ表示・集計されることで、「誰がどのような判断を下したか」を明確にし、公正でオープンな議論を可視化しています。

2. ペーパーレス化による「効率化と情報共有」の加速

全議員にタブレット端末を配備し、会議資料の完全デジタル化を実行しています。これにより、以下の効果を実現しました。

・情報の即時性と迅速な意思決定

膨大な資料が瞬時に検索・共有可能となり、議論の質が向上。執行部からの提供資料も含め、デジタル化で迅速な情報共有を可能に。

・コストと環境への配慮

紙資料を削減し、印刷コストの節減と環境負荷の低減を両立。

3. 災害時でも止まらない「議会BCP」の運用

近年、激甚化する自然災害や新型コロナウイルス、原子力事故等に備え、倉吉市議会業務継続計画(議会BCP)を策定。有事の際にも議会が機能を停止せず、市民の安全確保と行政支援を支える体制を強化しています。

タブレット端末を活用した災害情報の収集や、オンラインを活用した緊急連絡体制の整備など、デジタル化を「防災の力」へと転換。市民の命と暮らしを守るため、行政との連携をより強固なものにしています。(了)



倉吉市議会公式YouTubeチャンネルのアイコン



公式YouTubeチャンネルのQRコード